

令和4年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



「今」と「将来」のためのビルド事業の説明に
続いて「財政の健全性」の確保について説明
するで！

確かビルド（新規事業の実施、既存事業の充実）
とスクラップ（既存事業の見直し）はセット
だったよね！

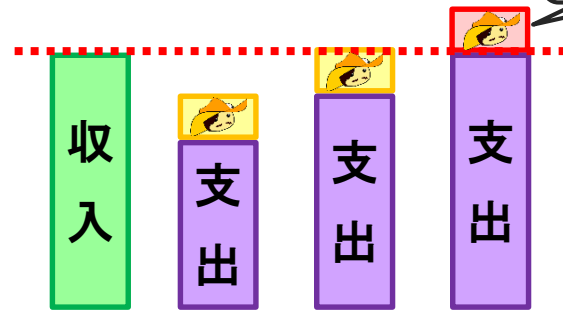


そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまうんだよ。



◎ビルドだけだと…

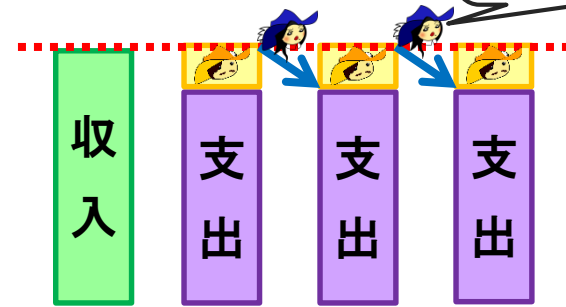
- ビルドによる新たな経費
- 財源が不足する経費



赤字に…

◎ビルドとスクラップがセットなら…

- ➡ スクラップによる財源の確保



収支のバランスも取れた予算に！



左の図のように、**ビルド**だけだと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、収支のバランスを取ることができるねん。



ってことは、令和4年度予算の編成時にも**スクラップ**に取り組んだのね！

既存事業の見直しは、時代に適した内容になるようにサービスを活性化させることにもつながるから、とてもいいことなんだよ。



ほな、令和4年度の予算編成で取り組んだ内容を紹介するで！





まずはじめに、スクラップ言うても、
こんなふういろいろな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

歳入の確保

単純にサービスを止めてしまっ
ただけじゃないのよね。





令和4年度予算編成でも、
多くのスクラップに取り組んだで。

例えば、「サービスの廃止・縮小」として、
システム保守委託の内容を見直したり（695
万円減）してん。
合計で約8,300万円の見直しになるで。



実情に沿って廃止や縮小すれば、
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。
普段からサービスの効率化を意識したり、
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和4年度は、LED化に伴う街路灯等の
電気料金の減による見直し（736万円減）
などがあるで。



「最少の経費で最大の効果」を発揮する
ために、常日頃から効率的な実施方法を
検討しているんだ。約3,700万円も見直
しているよ。





そして「**経費の抑制**」。
これも実施方法の変更と同様に、効率化を図ったり、実情に沿って見直すことやで。

補助金などをこれまでの実績を踏まえて精査することで、約1,000万円も削減してん。



必要に応じて見直せば、新たなサービスの財源になるのね！





最後は「**歳入の確保**」。
サービスを見直して支出を抑制するだけ
やなく、利用の適正化や収入を増やして
財源を確保する方法やで。

令和4年度は、学習・生活支援事業に係る国
庫補助金の収入等が増えて約580万円歳入を
確保できてんで。



工夫を凝らした歳入の確保等にも
取り組んでいるんだね！





「財政の健全性」の確保には、
ビルド&スクラップの実践のほかにも、
ハード事業を適切に選択して市債（借金）
を抑制をする方法もあるんだよ。
ハード事業の実施に伴い発行する市債の償
還費用が、将来世代に重くのしかからない
ようにしないとね。

“安全・安心”
の実感

“豊かさ・幸せ”
の実感

“次なる茨木”の実現

メリハリある
ビルド
&
スクラップ
の実践

ハード事業の
適切な選択
による
市債発行の抑制

健全化の取組みによって、
将来にわたる健全財政を
確保してるのね！



令和4年度も「**財政の健全性**」を確保して「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。